

本件問い合わせ先
文部科学省科学技術・学術政策局国際交流官付 小野
03 - 3581 - 5271 (内線5174)

ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP)
第12事業年度審査結果について

平成13年4月18日
文部科学省科学技術・学術政策局

国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構 (HFSP O) (仏・ストラスブール) は、第12事業年度 (平成13年度開始分) の審査結果を発表した。

研究グラントについては、386件の応募に対して53件 (うち、日本人が研究代表者になったもの6件) が採択され、研究代表者及び共同研究者合わせ185名 (うち、日本人研究者24名) が研究を行うことになる。

また、長期フェローシップについては、665名の応募に対して81名 (うち、日本人研究者11名) が採択された。

第12事業年度審査結果：

[研究グラント]		[長期フェローシップ]	
応募件数	採択件数 (全研究者数)	応募者数	採択者数
386件	53件 (185人)	665名	81名

研究グラントを受賞した日本人研究代表者 (6名)

- ・上村 匡 (京都大学)
研究テーマ 軸索突起・樹状突起のパターン形成：Rho GTP加水分解酵素の制御
- ・近藤 隆 (理化学研究所)
研究テーマ ホメオティック遺伝子複合体における遺伝子発現調節に対する染色体構造の役割の解析
- ・酒井 邦嘉 (東京大学)
研究テーマ 文法処理の脳機構
- ・芝 清隆 ((財) 癌研究会癌研究所)
研究テーマ 人工進化系による新しい遺伝暗号システムの創出
- ・豊島 近 (東京大学)
研究テーマ P型ATP加水分解酵素によるイオン能動輸送の構造的基礎
- ・八木田 秀雄 (順天堂大学)
研究テーマ NK細胞による腫瘍監視の分子機構

< 国際HFSP推進機構 (HFSP O) ホームページ >
<http://www.hfsp.org>

< HFSP日本語ホームページ >
<http://jhfsp.jsf.or.jp>

ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラムについて

1. プログラムの概要

生体の持つ優れた機能の解明（a.脳機能の解明、b.生体機能の分子論的アプローチによる解明）を中心とする基礎研究を国際的に共同して推進するプログラム。

国境を越えた世界の科学者の研究活動を、学際性、国際性、若手重視の基本理念の下、グラントやフェローシップの助成等によって支援する。

本プログラムは、全参加国の拠出金により運営されており、我が国は全体の拠出額の約7割を拠出している。現在のプログラム参加国は、サミット7ヶ国、スイス、EU。

本プログラムは内外でも高い評価を受けており、これまでに5名のノーベル賞受賞者を輩出している。

2. 経緯

- 1987年(昭和62年) 6月 ベネチアサミットにおいて中曽根首相が提唱
1989年(平成元年)10月 プログラムの実施主体である国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構(HFSP0)設立。
(仏・ストラスブール)
1996年(平成 8年) 6月 リヨン・サミット議長声明において、これまでのプログラムの成果が賞賛される。

3. 事業内容

- | | |
|---------|---|
| 研究グラント | 国際共同研究チームへの研究費の助成
(助成期間 3年以内、1件当たり年間25万ドル程度支給) |
| フェローシップ | 研究者が自国外で研究を行うための旅費・滞在費を助成
(助成期間 長期：3年間、短期：2週間～3ヶ月) |
| ワークショップ | 最先端の研究成果についての研究集会への助成 |

4. 予算規模

- | | |
|-------------|---------------------|
| 2000年度の全拠出額 | 4,978万US\$ (100.0%) |
| うち我が国の拠出額 | 3,710万US\$ (74.5%) |